

### 3 危険回避行為

日本の高校生は、「海や山などでは、「立入禁止」のところに入らないようにする」、「道路の信号を守るようにする」といった野外や交通の安全ルールを守る意識が高い。反対に、米国の高校生は、そのような意識が低い。中国の高校生は、食べ物の安全確認やホームページにむやみにアクセスしないなどの自己防衛意識が高い。韓国の高校生は、来客の確認や短時間の外出でも鍵をかけるといった防犯意識が高い。

危険回避行為では、火災の避難確認や防止行為、防犯行為、交通安全行為、野外活動の安全行為、食べ物の安全確認、身を守る行動など 22 項目を挙げ、「いつもする」「たまにする」「しない」の 3 段階で聞いた。

#### ① 避難確認

「映画館や旅館などの施設では、非常口を確認するようにする」について、「いつもする」と回答した者の割合が、米国 22.7%、中国 22.4%、韓国 22.2%に対して、日本は 8.5%と極めて低くなっている（図 3-1）。

「映画館や旅館などの施設では、消火器や消火栓を確認するようにする」では、「いつもする」と回答した者の割合が、中国 12.6%、韓国 9.8%、米国 7.0%に対して、日本は 2.5%と低くなっている。「たまにする」を加えても、日本は 15.8%と、米中韓を大きく下回っている（図 3-2）。

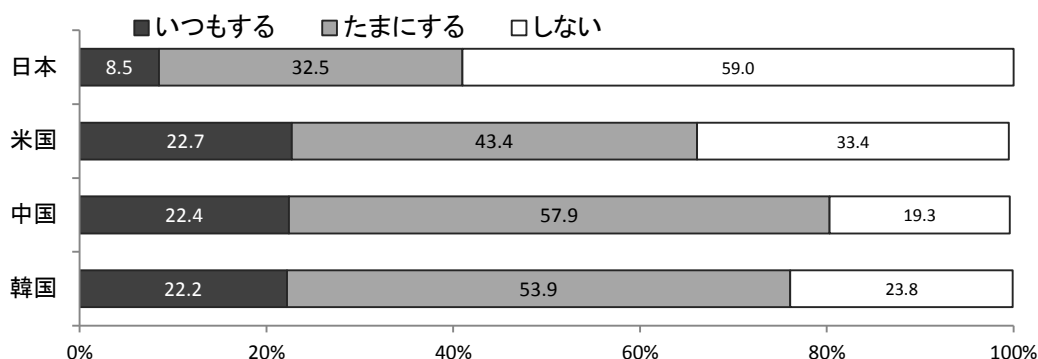


図 3-1 映画館や旅館などの施設では、非常口を確認するようにする

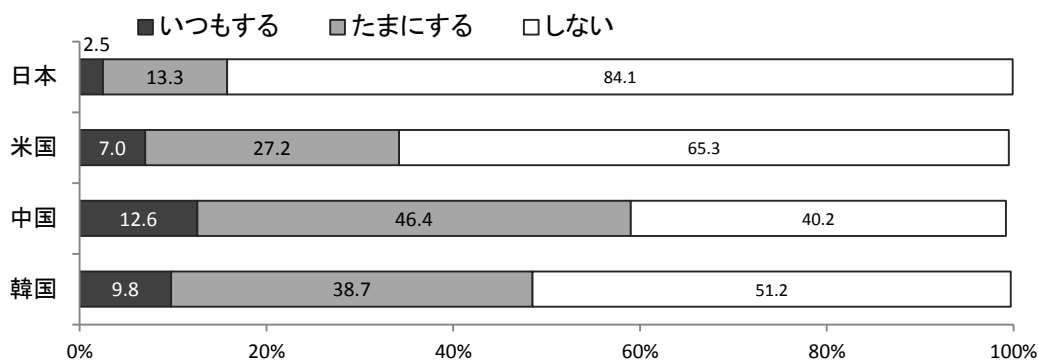


図 3-2 映画館や旅館などの施設では、消火器や消火栓を確認するようにする

## ② 災害防止行為

「濡れた手でコンセントを触らないようにする」では、「いつもする」と回答した者の割合が、米国は最も高く 88.9%、次いで中国 70.0%、韓国 63.4%、日本 57.9%の順となっている（図 3-3）。

「鍋やフライパンで油を加熱する時にはその場から離れないようにする」では、「いつもする」と回答した者の割合が、中国が最も高く 61.9%、次いで日本 53.7%、米国 52.7%、韓国 43.6%の順である。なお、「料理しない」と回答した日本の高校生が 16.3%となっており、他の3か国と比べて最も多い（図 3-4）。

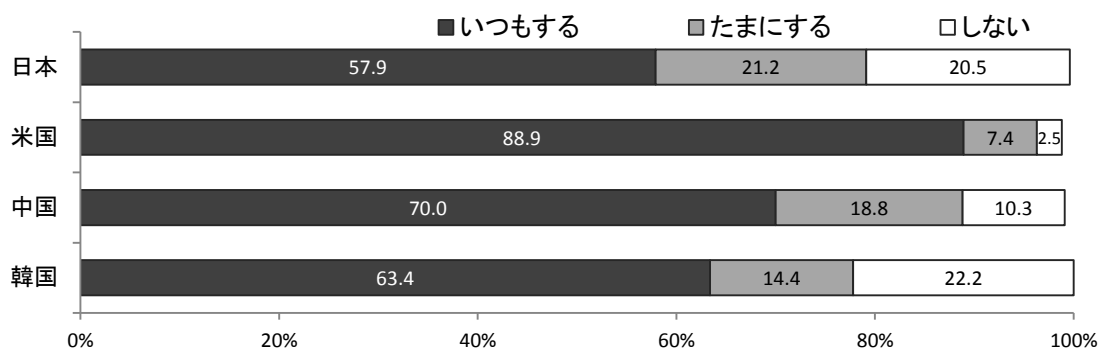


図 3-3 濡れた手でコンセントを触らないようにする

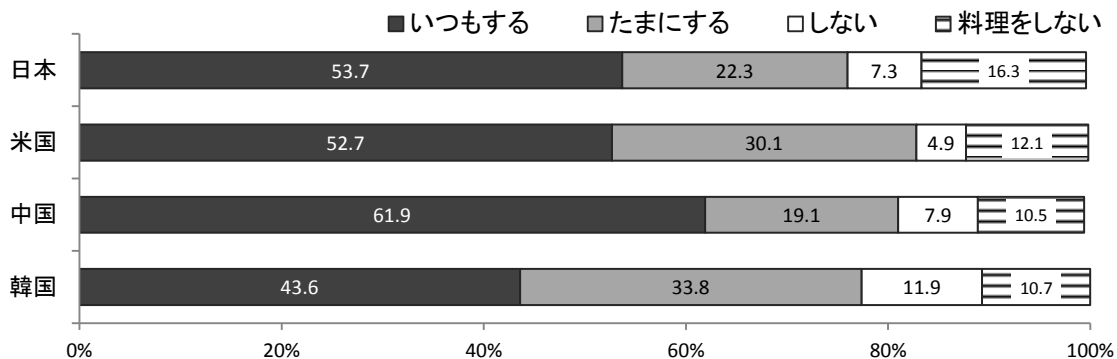


図 3-4 鍋やフライパンで油を加熱する時にはその場から離れないようにする

## ③ 防犯行為

「インターホンが鳴ったり、玄関のドアをノックされたら、相手を確認してからドアを開けるようにする」では、「いつもする」と回答した者の割合が、4か国とも60%を超えている。特に、韓国は75.6%と4か国の中では最も高い（図 3-5）。

また、「外出する時には、たとえ短時間でも、鍵をかけるようにする」についても、「いつもする」と回答した者は、韓国が76.8%と4か国の中では最も高く、米国が57.2%と最も低い（図 3-6）。

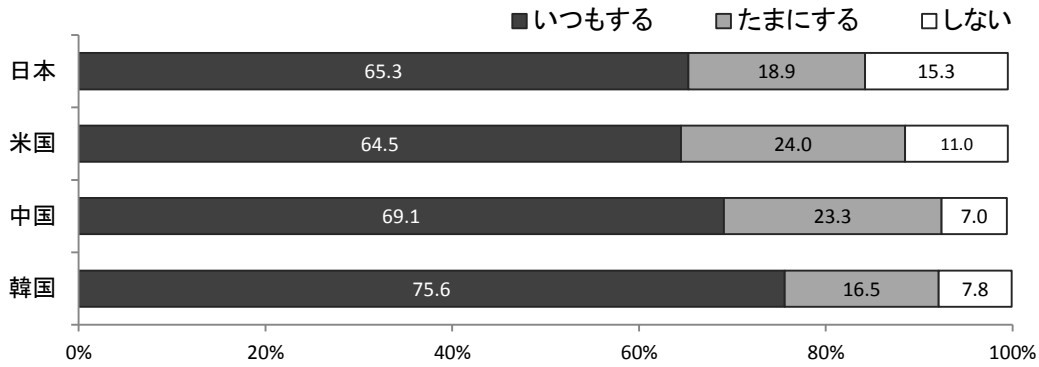


図 3-5 インターホンが鳴ったり、玄関のドアをノックされたら、相手を確認してからドアを開けるようにする

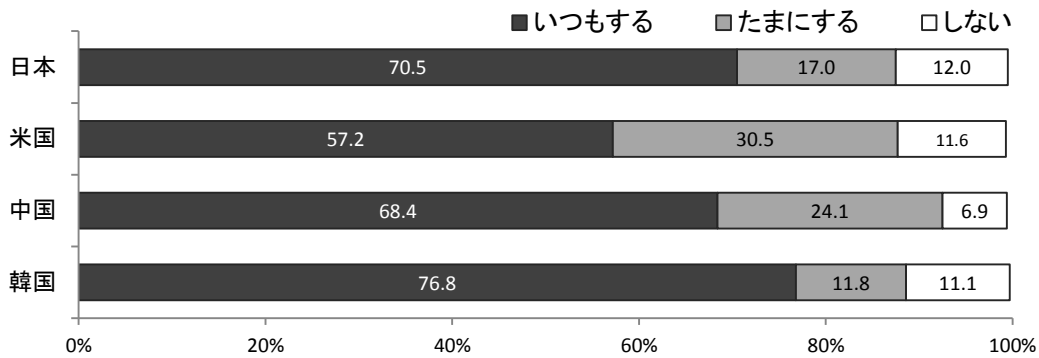


図 3-6 外出する時には、たとえ短時間でも、鍵をかけるようにする

#### ④ 交通安全行為

「自転車に乗る時には、ヘルメットを着用するようにする」など、交通安全に関する行為6事例で、日本の高校生が「いつもする」を選択した割合が高かったのは、「夜自転車に乗る時には、ライトをつけるようにする」83.4%、「歩きながらや自転車の乗りながら、スマートフォンや携帯電話等を使用しないようにする」43.1%である。また、「道路を横断する時には、信号を守るようにする」74.4%も中国の79.8%に次いで高く、「車に乗った時には、シートベルトを着用するようにする」58.0%では米国72.7%に次いで高い。「自転車に乗る時には、ヘルメットを着用するようにする」は4か国とも総じて低い。なお、「自転車を使わない」と回答した者の割合も多く、その割合は、韓国では概ね35%、米中でも20%程度となっている(図3-7~12)。

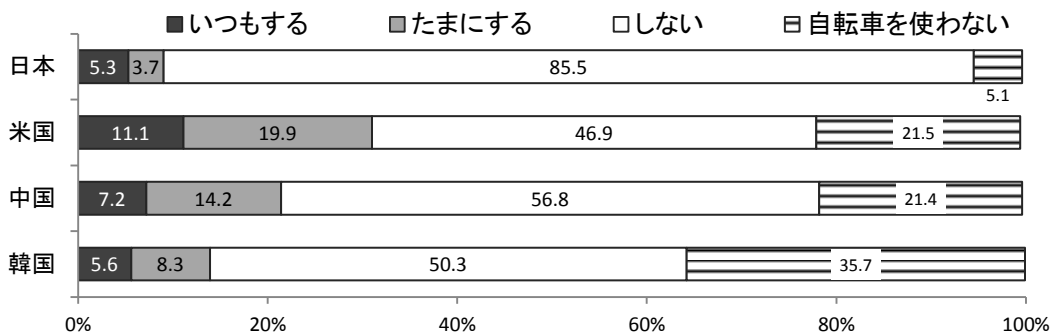


図 3-7 自転車に乗る時には、ヘルメットなどを着用するようにする

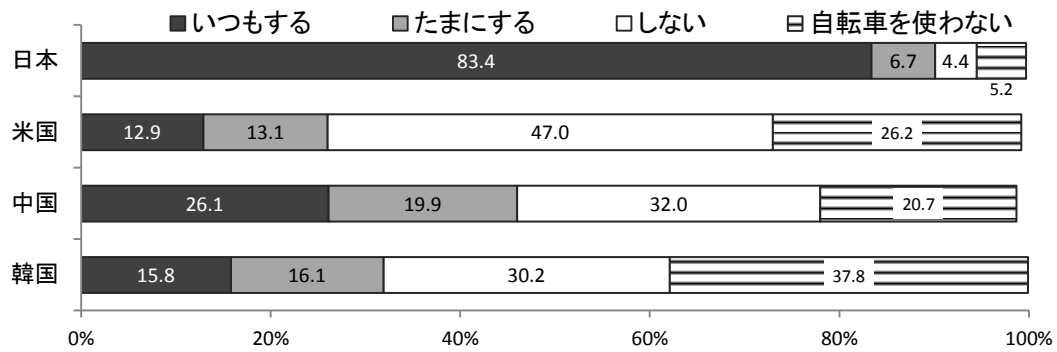


図 3-8 夜、自転車に乗るときには、ライトをつけるようにする

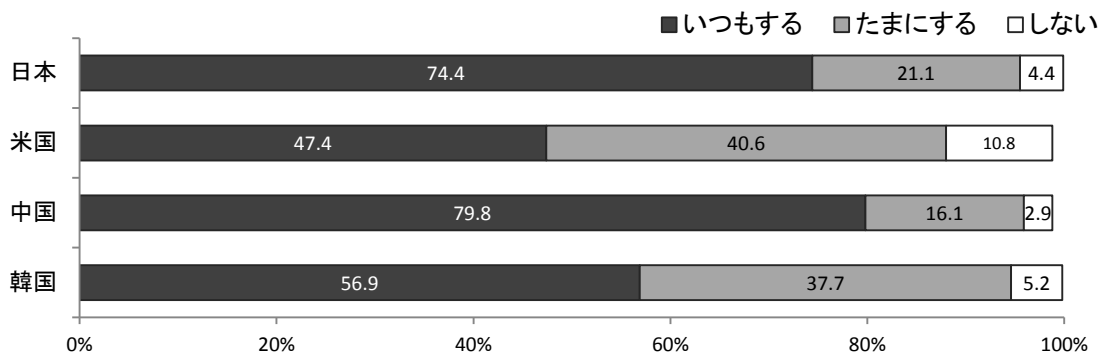


図 3-9 道路を横断する時には、信号を守るようにする

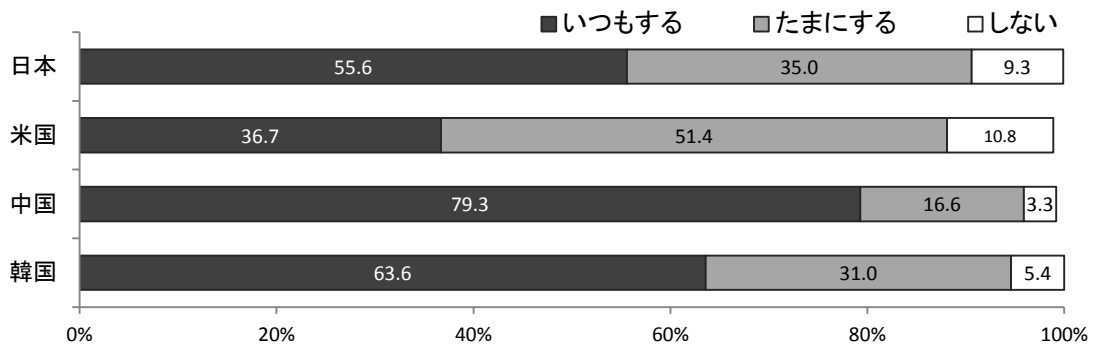


図 3-10 道路を横断する時には、横断歩道や歩道橋を使うようにする

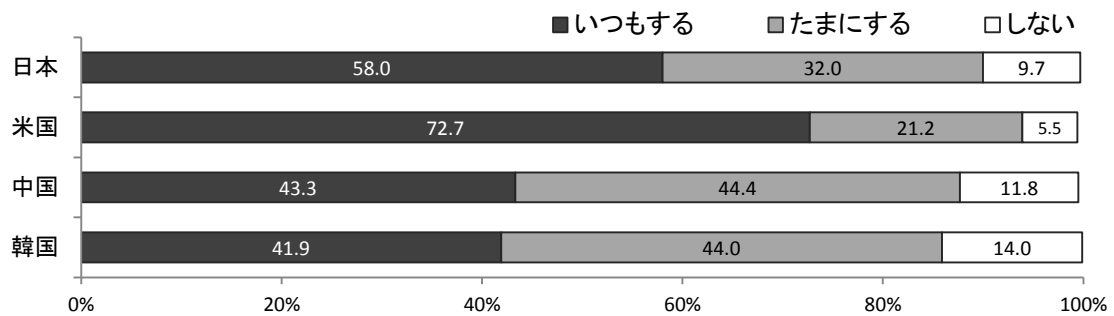


図 3-11 車に乗った時には、シートベルトを着用するようにする

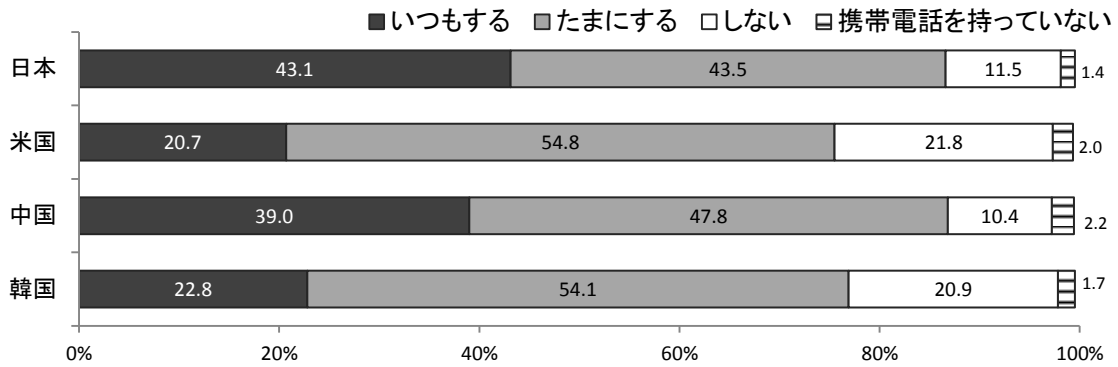


図 3-12 歩きながらや自転車に乗りながら、スマートフォンや携帯電話等を使用しないようにする

### ⑤ 野外活動の安全行動

「海や山などでは「立入禁止」のところにいかないようにする」「監視員のいない海浜や湖畔などでは泳がないようにする」といった野外活動の安全行為の2事例で、「いつもする」と回答した割合が最も高いのは日本で、最も低いのは米国である（図 3-13～14）。

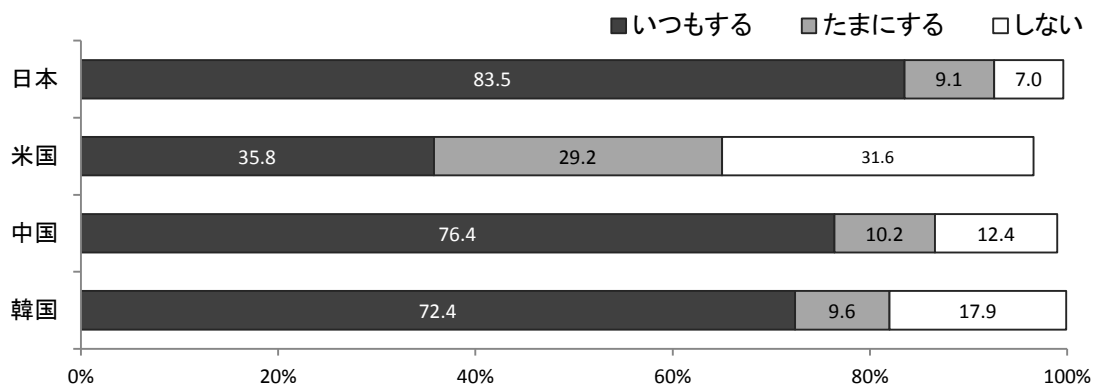


図 3-13 海や山などでは、「立入禁止」のところにいかないようにする

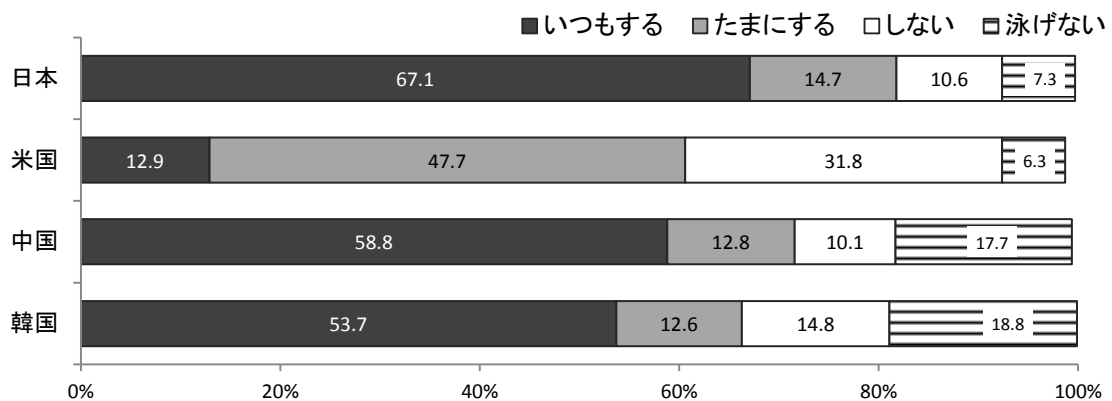


図 3-14 監視員のいない海浜や湖畔などでは泳がないようにする

## ⑥ 食べ物の安全確認

「消費期限が過ぎた物は、食べないようにする」など食品の安全に関する行為3事例では、「消費期限が過ぎた物は、食べないようにする」について、「いつもする」と回答した者の割合が高かったのは、中国の78.0%と米国の70.4%である。日本の高校生は44.7%であり、4か国中では最も低い。「食べ物を買う時には、消費期限を確認するようにする」では、韓国が68.8%、中国が66.3%と高い。「食べ物を買う時には、添加物などを確認するようにする」は、4か国ともそれほど高くはないが、4か国の比較では中国の30.9%と韓国の22.5%が高い割合を示している(図3-15~17)。

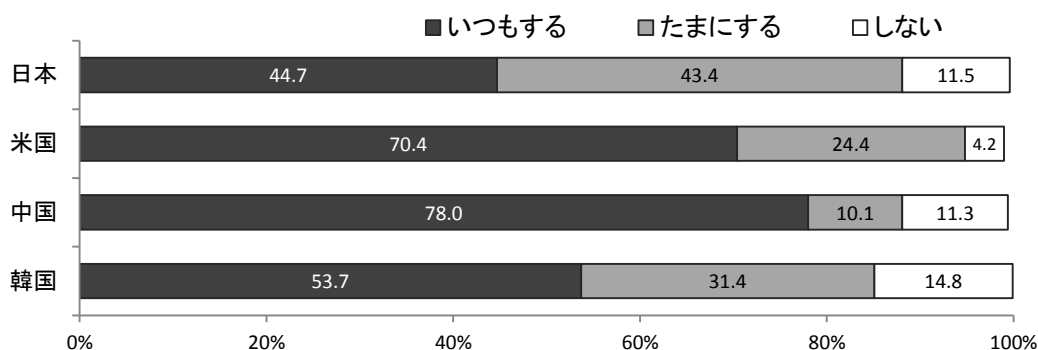


図 3-15 消費期限が過ぎた物は、食べないようにする

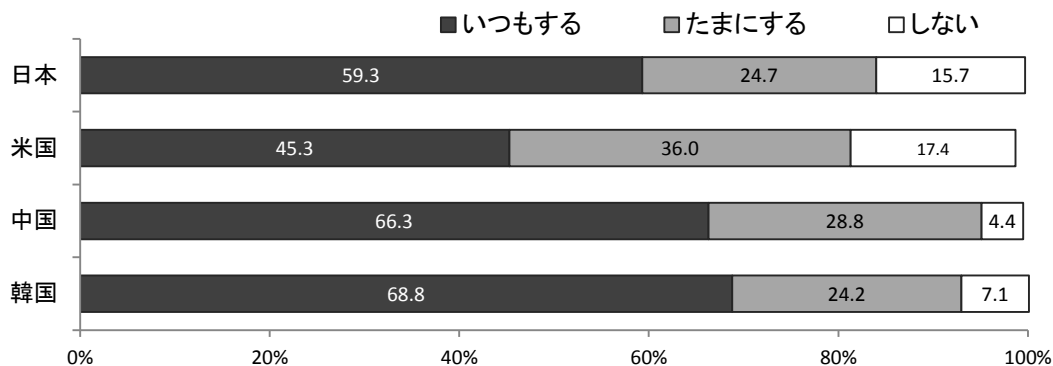


図 3-16 食べ物を買う時には、消費期限を確認するようにする

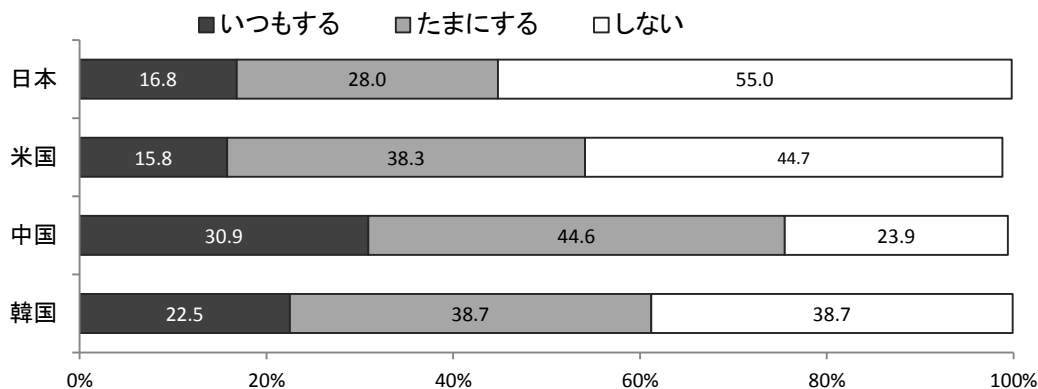


図 3-17 食べ物を買う時には、添加物などを確認するようにする

⑦ 身を守る行動

「夜遅い時間には、一人で外出しないようにする」など身を守る行動4事例で、4か国とも「いつもする」と回答した者の割合が高かったのは「夜遊びをしたりするなど問題のある人やグループとは付き合わないようにする」「外出する時には、行先などを親に伝えるようにする」であり、その割合は4か国とも50%を超えている。また、「インターネットを利用しているときには、いつもむやみに色々なホームページにアクセスしないようにする」では、「いつもする」と回答した者の割合が高かったのは中国54.1%である（図3-18～21）。

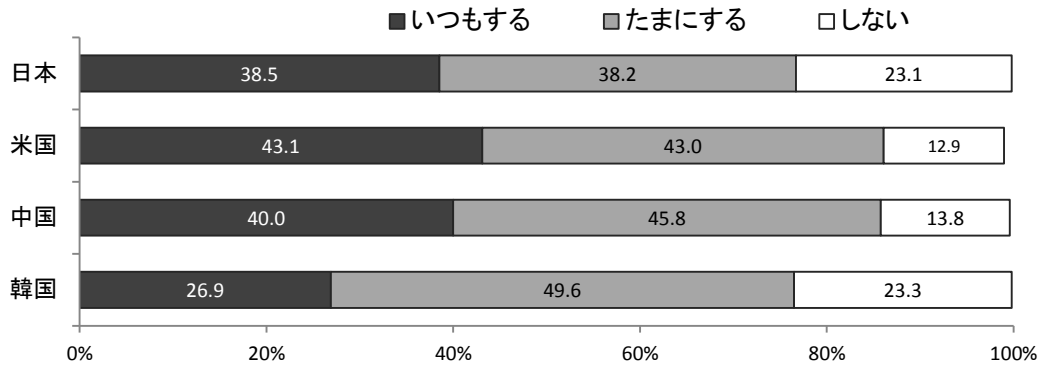


図 3-18 夜遅い時間には、一人で外出しないようにする

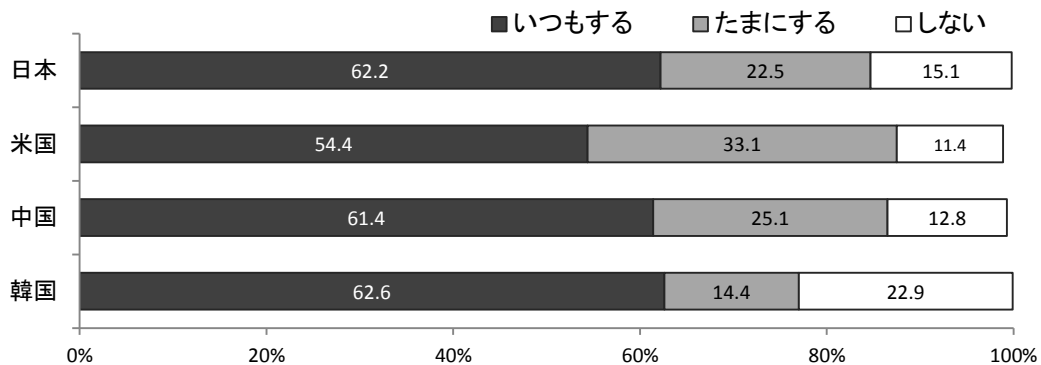


図 3-19 夜遊びをしたりするなど問題のある人やグループとは付き合わないようにする

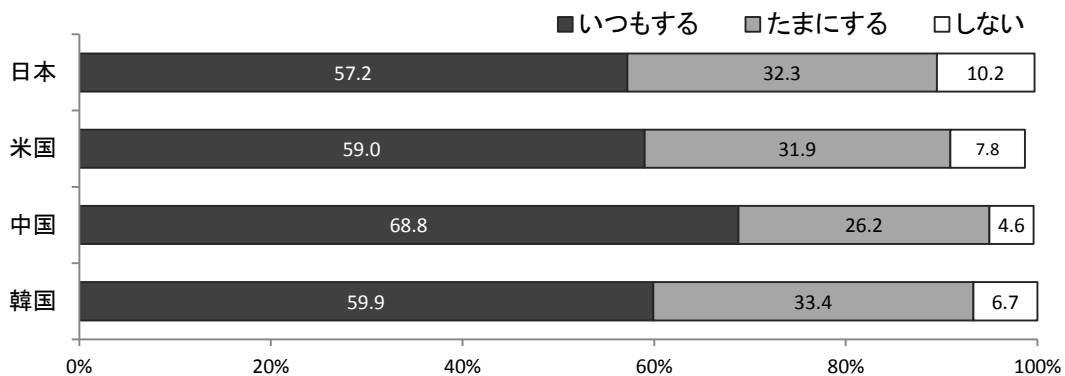


図 3-20 外出する時には、行き先などを親に伝えるようにする

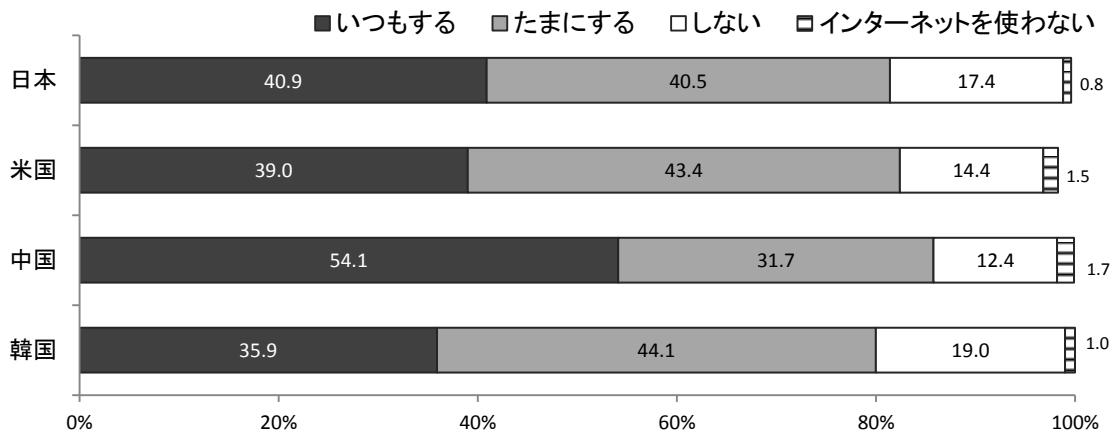


図 3-21 インターネットを利用しているときには、むやみに色々なホームページにアクセスしないようにする